

- 1 日 時：令和2年11月20日（金）午後6時～
- 2 場 所：京都デザイン協会事務局
テレビ会議ツール「ZOOM」によるWEB理事会
- 3 出席理事：11名
- 4 議 長：定款第34条の定めにより理事会の議長は、理事長がこれに当たる。
- 5 議 案：

(1) 第1号議案 令和2年度の事業報告

①デザインを通じて地域基盤の向上と地域産業の振興を推進する事業（公1）

10月10日（土）：作品搬入・第一次審査（KDA 会員、京都府、京都市）

10月11日（日）：外部審査員による審査・作品搬出

審査結果 入賞：9点 入選：17点（別紙参照）

●入選作品展

会期：11月13日（金）～15日（日）午後1時～5時

会場：くるちく イベントスペース 天正館2F

期間中来場者：88名

●表彰式・作品講評会

会期：11月15日（日）午後3時30分～5時30分

会場：くるちく イベントスペース 天正館2F

来場者：表彰式73名 作品講評会66名

●交流会

日時：11月15日（日）午後6時～8時

会場：くるちく イベントスペース 天正館2F

出席者：59名

実行委員長より「京都デザイン賞2020」事業を終えて、感想、今後の取り組みについての発言があった。

応募作品数について、新たな大学からの応募もあった。さらに近隣大学への働きかけにより応募数を増やすことが必要。他府県からの応募はホームページ、ネット上の公募情報メディアにより情報入手しての応募が多く、さらに情報拡散の工夫が必要。

作品展、講評会、交流会とも「くるちく」の協力により、ワンストップの場所で開催できたことのメリットは大きかった。作品展の会場が表通りから奥まっていたため、一般の方々の鑑賞は少なかった。誘導の工夫が必要。

授賞式、講評会、交流会とも、会場スペースの関係で「やや密」な状態は避けられなかったが、アルコール消毒、マスク着用は徹底していた。講評会は時間がオーバーする充実した内容だった。

「交流会収支」報告があり承認された。

②デザイナーである会員の創作・研究・発表を行い、そのデザインの向上を図る事業（共1）

会員展について 今年度はすでに終了したので、次年度に向けての企画を立案していただくよう、川口実行委員長に要請。

③会員相互の交流を目的とした事業（共2）

- (ア) 交流会について→なし
- (イ) KDAサロン→なし
- (ウ) DesignersMiniCafé→なし
- (エ) 国際交流事業→なし
- (オ) 他団体との交流事業→なし

④京都のデザイナーによるデザイン会議事業（共3）

京都デザイン会議について

テーマ：住

吉川実行委員長を中心に、何回も実行委員会で企画案が討議されている。

開催日時：令和3年3月〇〇日（〇）

会場：京料理 清和荘（京都市伏見区深草越後屋敷町8番地

シンポジウム 候補に上がっているパネリストへの交渉に入っている。

第一部 15:00～16:15 無料

仮称)「新型コロナウイルスの前とあと」－これからのデザインの方向性を探る－

第二部 16:40～ 申し込み制 有料

内容が固まり次第、実施・運営のための全面的な協力を要請。

(2) 第2号議案

①運営報告

- (i) 企画・教育 なし
- (ii) 広報・交流 なし
- (iii) 総務

11月からGoogleの方針で、セキュリティーのかかっていないURLを排除することが始まり、KDAでも実害が発生したので、ホームページのセキュリティー対策にとりかかった。

設定後はうまく作動をしているようである。

いままで <http://design.kyoto>

<http://www.design.kyoto>

これから <https://design.kyoto>

<https://www.design.kyoto>

従来の http のままでも新しい https として認識されセキュリティーがかかる。また、これらの設定のあといままでの <http://www.kyoto-design.net> についてはサーバー変更とドメイン移管をおこない、こちらもセキュリティー対策を行うべく諸般の手続き中の完了待ちとなっている。

サーバー変更についての効果は以下の通りである、

1. セキュリティーの向上
2. ふたつのサーバーをひとつにまとめることで、サーバー年間使用料金を2分の1に削減

◎今後の協会発行物、個人による表記を以下に変更していく。

<https://design.kyoto>

<https://www.design.kyoto>

(iv) 経理・会計 なし

②一般報告 なし

6 議 案：

田理事より、京大防災研究所での避雷装置の技術革新に関する情報提供があった。

以上をもって議事全部の審議および報告を終了したので、議長は午後6時40分に閉会を宣言し、理事会を終了した。

本理事会の経過及び結果が正確であることを証するために議長が議事録を作成し、代表理事及び本理事会に出席した理事がこれに記名押印する。

令和2年11月21日

代表理事

奈良 磐 雄

印

理事 老田徳廣

印

理事 永田みどり

印

理事 片倉文恵

理事 古川加津夫

印

理事 川口凱正

印

理事 堀口英人

理事 官能右泰

理事 松尾安浩

印

理事 木原三郎

理事 松原 出

理事 黒竹節人

印

理事 山岡敏和

印

理事 小林和行

印

理事 山本祐三

理事 才門博史

理事 吉川博史

印

理事 鈴木秀信

理事 住谷晃也

監事 久谷政樹

印

理事 田中 聡

印

監事 本郷公盛

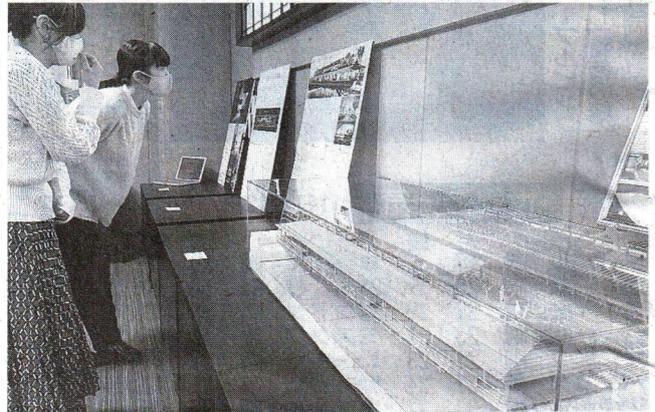
印

京都デザイン賞2020 入賞・入選リスト

	会社・団体・学校名	作品名	部門
大賞	香取建築デザイン事務所 香取武則・羽原ふみ	The Westin Miyako Kyoto / Chapel Renovation	第1部門
京都府知事賞	コアマシナリー株式会社	ソリッドハニカムテーブル	第4部門
京都市長賞	NTT都市開発株式会社 株式会社日建設計 株式会社大林組 中村外二工務店	THE HIRAMATSU 京都	第1部門
京都商工会議所会頭賞	株式会社日建スペースデザイン	三井ガーデンホテル京都河原町浄教寺 (建築・映像部門)	第1部門
京都新聞賞	有限会社 藤原篤建築・都市設計研究所 藤原 篤	渋滞しない四条通案	第1部門
伏見の清酒・都鶴賞	西館若菜	伏見の清酒「都鶴」	第6-①
京とうふ・藤野賞	帝塚山大学 岡野愛子	いちまつどうふ	第6-②
京の和文具賞	株式会社オフィスオフサイド 高橋 真一	ぼち綴り	第6-③
学生賞	滋賀県立大学大学院 山崎 稜	橋上の町家 —都市の新たな動線空間—	第1部門
入選	株式会社竹中工務店 森山悟・中村圭祐・足立裕己・奥田祐大	立誠ガーデン ヒューリック京都	第1部門
入選	株式会社twha 中園美博	「新たな京町家の作り方。」 il ciliegio	第1部門
入選	京都美術工芸大学 堀 勝将	広京庭都	第1部門
入選	清水覚・大上倫太郎	Re:TSURU	第3部門
入選	合同会社森林堂	eninaru 『曼珠沙華』	第3部門
入選	株式会社デザインハウス風 佐野明代	和紙糸から生まれるテキスタイル	第3部門
入選	株式会社一新堂 本土大智 合同会社生活道具 小嶋健一	「京都式貼箱 京刃物型」と 「京都式貼箱 美術工芸型」	第4部門
入選	製造販売:株式会社尚雅堂 デザイン:福定良佑	SOMÉPAD	第4部門
入選	株式会社辻商店	ブリーツのお皿	第4部門
入選	嵯峨美術短期大学 宍谷ひなた	伏見の清酒「都鶴」	第6-①
入選	嵯峨美術短期大学 花房里奈	鶴の舞い	第6-①
入選	嵯峨美術短期大学 義山陸生	伏見の清酒「都鶴」	第6-①
入選	株式会社デザインハウス風 大原 正	都鶴	第6-①
入選	帝塚山大学 新開美優	都鶴ラベル	第6-①
入選	嵯峨美術短期大学 浅井すず	京野菜のおとうふ	第6-②
入選	嵯峨美術短期大学 清水百合香	おとうふコロコロ	第6-②
入選	帝塚山大学 能城紗英	着物パッケージの京とうふ・藤野	第6-②

伝統を独創的に 優秀作並ぶ

中京で「京都デザイン賞」作品展



会場で展示されている京都デザイン賞の入賞・入選作品(京都市中京区・くろちく天正館)

京都デザイン協会が主催する「京都デザイン賞2020」の入賞・入選作品展が13日、京都市中京区新町通錦小路上ルのくろちく天正館で始まった。建築物や生活雑貨などの工夫を凝らしたデザイン26点を展示している。

同賞は、京都の伝統に新たなアイデアを加味したデザインを創出するため、同協会が毎年実施している。12回目の今年は全国から98点の作品が寄せられ

た。会場には、大賞に選ばれた香取建築デザイン事務所(東京)が手掛けたウエスティンホテル京都(京都市東山区)のチャペルの写真解説のほか、多彩なデザインの作品が並ぶ。豆腐や日本酒の独創的なパックやラベル、渋滞しないようにデザインした四条通案などもあり、来場者が見入っていた。入場無料。15日まで。午後1時〜5時。

(仲屋聡)

